

ぎのわん地域づくり塾 ニュースレター

主催：宜野湾市 / 宜野湾市社会福祉協議会 運営：特定非営利活動法人 まちなか研究所わくわく

Vol. 3

H28. 8. 18 ~ぎのわん地域づくり塾の様子をお伝えします~ 発行：宜野湾市市民協働推進課

企画案作成に向け、チームの活動スタート！

第3回 <8月8日(月)19:00-21:00>

チーム分け/話し合い/地域インタビューに向けた準備

まちなか研究所わくわく 宮道喜一氏



第3回講座は、これから地域課題解決のための企画案作成に取り組むチームづくりと地域インタビューに向けた工夫と配慮などについて話し合い、いよいよチームでの活動がスタートしました。

最初に、長田区に寄せられる困りごとを大きく「環境」「貧困」「高齢者」「道路・交通」という4つのテーマに分類し、塾生それぞれが気になるテーマのもとに集まった前回(第2回)の状況からスタート。そのメンバーから、企画提案していくチームづくりを行いました。「高齢者」「貧困」の分野は、さらにテーマを細分化したチームを編成しました。

その後、早速チームに分かれ、付箋を使った話し

合いの手法を用い、各テーマの「困りごと」の現象(目に見えるもの)と原因(引き起こすもと)について意見を出し合いました。さらに、その現象と原因を掘り下げて考えるために知りたいこと・調べられること、その方法について話し合いを進め、沢山のキーワードを出し(拡散)、メンバーの多角的な視点からの意見を共有しました。

そして、地域課題解決のための企画案づくりにあたって、調べる方法(かぞえる、くらべる、たずねる)や地域インタビューに向けた工夫と配慮について話し合いました。

~インタビューに向けた工夫と配慮(事務局より提示)~

- ・敬意をもって接する。 ・信頼関係
 - ・関わることによって害を与えない。
 - ・うなずく。 ・調べてのぞむ。
 - ・事実を聞く。数字を聞く。 など
- ※各グループからでた工夫・配慮は次回共有。



塾生の声 ~レポートより~

~気づき・学び~

- 付箋紙に記入していくことで、情報を整理でき、何をどうしていくのかがわかりやすかった。
- 様々な視点の考えや意見がとても興味深かった。
- 最初はイメージがわかず難しいなと感じたけど、4人で話し合えばどんどん広がっていったので、1人で考えるよりは沢山の人で話し合うことが大切だと改めて感じました。
- 話していくと結局は、他のグループとつながることに気付いた。

~自分に生かしたいこと~

- ワクワクすること。
- 話し合い、チームづくりの手法。
- 意見の見える化、付箋の活用。
- 信頼関係の構築。
- 困りごとは日常的な会話、雑談から引き出す。
- 相手へのリスペクトを忘れず話し合いをする。
- 事前準備の大切さと相手への配慮。など

次回の講座は…地域課題を調べる

~フィールドワークの作戦会議~

まちなか研究所わくわく 宮道喜一氏

8月22日(月)19:00~ @ふくふく2階講堂